



ホップ・ステップからいよいよジャンプの3学期。年間の総仕上げの3学期。そして、次年度の進級・進学に備えて、一人ひとりが自分のよさと可能性を見いだす学期です。教職員一同、子どもたち一人ひとりがこの1年間でどう成長したか、次の年度に期待することは何かを具体的に見いだし、希望や目標を高く持って新たな年度に向かってリードしていきたいと考えます。そのために、3学期は以下の点に重点を置いて、教育・指導を進めてまいります。

- ①学習面では、この1年間の復習を行い、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を目指します。
- ②児童指導では、1年間の締めくくりを感謝の気持ちで終われるよう、友だちどうしでよさを認め合う機会やお世話になった人々への感謝の機会を持つようにします。
- ③各学級では、この1年間の出来事を振り返り、集団として成長したこと、みんなで協力したこと、それによって成し遂げたことなどを確認します。

ご家庭におかれましても、この1年間がどのような学年であったか、よさ・努力・工夫などを話し合い、それらを次年度にどうつなげるかを確認してみませんか。

寒さに負けずにスケート実施

今年の冬は寒さが厳しかったので、本校のスケートリンクの氷は例年になく素晴らしいものとなりました。氷の上で初めてスケートをやる1年生は、氷の上に立って歩くのがやっとでした。3年生くらいになると、ほとんどの児童がスムーズに滑ることができるようになります。どの学年も寒さに負けずにスケートで体力づくりに取り組むことができました。低学年のスケート学習では、保護者の皆さまにご協力いただきありがとうございました。



子育てのこと話しませんか

2月22日（水）の授業参観の後、3階の多目的教室で家庭教育学級を行います。保護者どうしで、子どもの気持ちや、子どもとのコミュニケーションのとり方等について、少人数グループで話し合いませんか。参加希望のとりまとめを教頭が行っています。気軽にご参加ください。

インフルエンザの予防をお願いします

6年生ではインフルエンザが収束の方向に向かっていますが、他の学年では、まだ数名が欠席している状況です。また、インフルエンザの型が異なれば、2度感染することもあります。引き続き、インフルエンザの感染予防をお願いします。

2月の主な行事

- 6日（月）5・6年京劇鑑賞
- 7日（火）民生委員さんと学校との懇談会
- 8日（水）1・2年校外学習（エーデルワイス）
- 10日（金）入学説明会
- 11日（土）建国記念の日
- 14日（火）PTA合同委員会、音楽集会
- 15日（水）1・3・5年スケート教室
- 16日（木）避難訓練・登校班編成
- 17日（金）移動図書
- 20日（月）2・4・6年スケート教室、学校関係者評価委員会
- 21日（火）ふれあい招待給食
- 22日（水）読み聞かせ総会・交通安全母の会理事会
授業参観・家庭教育学級・懇談会
- 23日（木）学力テスト、地域安全活動感謝の会
- 24日（金）学力テスト、PTA顧問会
- 26日（日）吹奏楽部さよならコンサート



本校では、全職員で1年間の教育活動についての評価（学校評価）を行っています。そして、次年度の教育活動の改善に役立てています。下記は、本年度の「教育の重点」についての学校評価結果です。

○おおむね良好

・引き続き努力していく

▲改善していく

◇ 確かな学力の向上

1 学習指導の改善

- 頑張りや工夫を認め、励まして学習意欲が高まるように努めることができた。
- 授業のねらいを明示するとともに教材や教具等を工夫し、わかる授業を行うことができた。
 - ・どの学年も落ち着いて学習に取り組んでいるが、シャープペンを使用しないことや学用品忘れについては、引き続き指導して行く必要がある。
 - ・児童自らが成果と課題に気づき改善に生かせるよう、発達段階を考慮し指導を工夫していく。

2 指導体制の工夫改善

- 教師どうし協力して、複数の教師による授業を実施し、きめ細かな指導を行うことができた。
- 学習活動を充実させるために、これからも体験的な活動や外部人材の活用を進めていく。

◇ 豊かな心の育成

3 児童指導の充実

- 悩み調査や日常の観察等をもとに、いじめ防止や悩みの解消に全校体制で取り組むことができた。
- これからも全職員で、児童自らがよりよい行動を考えて実行できるよう指導して行く。

4 道徳教育の充実

- 公開授業の時に全学級で道徳の授業を行うことができた。
- 縦割り班活動は、思いやりの心や協力する心を育てるのに有効である。今後も充実していく。
 - ・あいさつができる子とそうでない子の差が広がったように思う。家庭と協力して「あいさつ運動」を一層推進していく必要がある。
- ▲本が借りやすいように図書貸し出しを業間に行き、読書活動を推進していく。

5 互いに高め合う集団づくり

- 児童一人一人が認められ、居がいのある学級づくりを進めている。
- どの学級でも、よりよい集団づくりのために児童自らが学級のきまりを決めて実行している。

◇ 健康な体の育成

6 体力の向上

- 引き続き、教科体育の充実を図り成就感や達成感が味わえるよう指導を工夫していく。
- ▲ロング昼休みの集会等を精選し遊びの時間を確保して、日常的な体力づくりを進めていく。

7 保健・安全指導の充実

- ・天災時の、保護者への児童の引き渡し方法について、徹底していく必要がある。
- ・「早寝、早起き、朝ご飯」運動を家庭と協力して進めていく。

8 食育の推進

- 栄養教諭の専門性を生かして食に関する指導の充実を図ることができた。

◇ 教育の効果の向上

9 家庭や地域等との連携

- 小学校へのスムーズな接続に向けて、幼稚園・保育園・小学校の連携を推進させることができた。
 - ・研究学校としての研究実践を通して、小中連携による道徳教育の充実が図れるように努める。
 - ・あいさつ運動やノーメディア運動については、保護者や地域の人々と共に積極的に推進していかなければならない。